

銘柄分析レポート：ユーソナー（４３１Ａ）

独自に構築した法人企業データベース「ＬＢＣ」の活用により、営業活動の効率化に役立つデータの正規化、名寄せ、一元管理などを実現する顧客データ統合ソリューション「ユーソナー」を主力事業としている会社です。２０２５年１０月、東証グロース市場に上場しました。

1 業績

トップライン（売上高）の持続的成長と、事業の採算性（営業利益率）の向上を、共に意識した事業運営を行っています。同社の収益構造は、データベース構築に一定の固定費を要する一方で変動費率が低いため、トップラインの成長に伴い売上総利益率も上昇していく仕組みとなっています。それに加えて成長投資に伴う販管費の増加を、売上総利益の増加が上回ることで、営業利益率も上昇していく見通しです。

	2023/12	2024/12	2025/12
売上高(百万円)	5,038	6,074	7,191
売上総利益(百万円)	2,862	3,758	4,460
営業利益(百万円)	115	910	1,390
当期純利益(百万円)	74	634	888
営業CF(百万円)	666	1,251	1,711
設備投資(百万円)	-242	-220	-681
コアFCF(百万円)	424	1,031	1,030
1株純利益(円)	9.6	81.1	113.0
1株配当金(円)	0	0	0

売上総利益率(%)	56.8	61.9	62.0
営業利益率(%)	2.3	15.0	19.3
投下資本回転率(倍)	26.8	20.0	16.2
ROIC(%)	61.2	299.3	312.4
ROE(%)	3.7	23.9	20.8
自己資本比率(%)	51.3	53.8	58.4

ROIC(%) = 営業利益 ÷ 投下資本 または ROIC(%) = 営業利益率 × 投下資本回転率

2 収益認識関係

契約（「ユーソナー」は年間契約で提供）により継続性の担保されているストック収入の割合が非常に高いビジネスモデルです。２０２５年１２月期においては、売上高に対してストック収入が８割以上を占めており、極めて安定した収益基盤となっています。

	2023/12	2024/12	2025/12
フロー収入(百万円)	1,349	1,279	1,356
ストック収入(百万円)	3,689	4,795	5,835
ストック収入比率(%)	73.2	78.9	81.1

フロー収入：一時点で移転される財、ストック収入：一定の期間にわたり移転される財